

事業所名 放課後等デイサービス めだかミニスクール

## 支援プログラム（参考様式）

作成日 2025年 3月 15日

法人（事業所）理念	先見性に富む柔軟な発想で、医療の枠を超え、子どもと高齢者が安心して生活できる街を創る		
支援方針	児童一人ひとりの発達や個性を尊重し、支援を通じて将来につながる「自立」「社会性の向上」「生活スキルの習得」を目指し支援する。 ICT療育を取り入れ様々な学びの機会を得ることで、日常に必要な問題解決力・コミュニケーション能力・自己表現力を身につけることを目的としています。 お友達や大人と関わりながら、安心して過ごせる放課後の居場所となる		
営業時間	(平日) 10時～18時45分 (サービス提供時間：14時～18時) (休日) 8時45分～17時15分 (サービス提供時間：10時～16時)	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	安全で自信にとって快適な自立した生活を送るための取り組みや日常生活に必要な身の回りのことの練習や生活スキルの向上に繋がる支援を行う。 ・利用開始時に活動中の健康状態の把握 ・手洗い・うがい、身だしなみの確認、荷物の片づけ等、生活スキルの習得 ・調理体験や食事、おやつを通しての食育とマナー等、日常生活に困らない生活動作の習得 ・時間や活動内容の確認、視覚化により見通しをもった行動や生活リズムを習得	
	運動・感覚	活動や遊びの中で身体を使いこなせる運動機能と感覚能力の発達向上を促し、日常生活に必要な基礎力に繋がる支援を行う。 ・走る、跳ぶ、バランスを取るなど運動・動作の大きな動きを取り入れ、身体のコントロールの向上を目指し姿勢保持やバランス感覚を習得 ・バランス感覚の向上により、姿勢の維持や柔軟性からの転倒リスクの軽減を図る。 ・工作活動やアイロンビーズ・調理活動を通して手先・指先、巧緻性の発達・集中力・完成させる達成感による自己肯定感の向上を取得 ・楽しみながら取り組み「できた」という成功体験を積み重ね自己肯定感や自信を育み、協調性やコミュニケーション能力を習得	
	認知・行動	スケジュールの理解、次の行動への切り替えの理解、日常生活中で必要な自己選択・自己決定力を養い社会的に適応できる支援を行う。 ・その日のスケジュールの時間や活動内容の確認、視覚化により見通しをもち、スムーズに次の行動に移れるよう支援する。 ・活動には手順書を文字やイラストなどを使い分かりやすく説明し理解を深め、主体的に次の工程に進められるよう支援する。 ・ICT療育プログラミングを通して、自分の考えを形にしたり問題解決したりする過程や、視覚的なコミュニケーションやタッチ操作を通じて音声認識や言葉やジェスチャーのやり取りが促進され様々なスキルを身につけ社会での適応できる力を習得	
	言語 コミュニケーション	子供たちの言葉の発達やコミュニケーション能力を伸ばすために言葉を使う力だけでなく、相手の気持ちを理解できるようになったり、適切な表現ができるよう支援する。 ・登所時・活動前・終わりの「挨拶」や基本的なコミュニケーションツールの習得への支援 ・お友達や職員との自然な関わりの中で、言語の発達を促したり、正しい表現方法を練習し繰り返しの支援を行う。 ・遊び中の「貸して」「入れて」と言っただけの返事を待つことができるように、その時の状況にあった返答ができるようにSSTの実施。 ・助けてほしいときや、困ったときに援助を求められることができ、生活の中で必要な行動を適切な場面で行えるよう言葉の補助及び支援。	
	人間関係 社会性	集団活動を通して、ルールやマナーを知り、社会的なスキルやコミュニケーションがとれるよう支援を行う。 ・集団活動や遊びの時間を通して、順番に行う・ルールを守る・友達と協力する経験を提供し気持ちのコントロールが習得できるよう支援する。 ・失敗や負けを受け入れることができ気持ちの折り合いをつけながら、生活していくために必要なスキルを身につけられるよう支援する。 ・公共交通機関や公共施設・公園などでのルールやマナーを実際に体験・経験しながら学べる活動を取り入れ支援する。 ・地域行事に参加することで多くの人の関わり方や社会性を育む。	
家族支援	・連絡ノート、送迎時に活動の内容や日々の様子などを報告し、定期的な面談の中で状況確認や家庭内の様子の情報共有を行う。 ・不安や困りごとへの相談援助を行う。 ・必要に応じて延長支援の実施。	移行支援	・学校や関連機関と情報共有・提供 ・包括的に支援を行える環境を作り ・個人活動から集団活動への移行 ・事業所で支援し、習得した行動を学校、家庭・社会などで行動が繋がる支援
地域支援・地域連携	・学校や関係機関との密な連携を図る。 ・地域の人に活動の講師を務めていただき、特性について理解してもらおうと共に子供たちの「できること」を支援員と共に伸ばしていく。 ・地域イベントへの参加や地域との交流の機会を提供する。 ・ボランティアの受け入れを行い、色々な方との交流の機会を提供	職員の質の向上	・法定研修（感染予防・虐待・身体拘束適正化、災害時対応） ・発達支援に関する外部、内部の研修参加による知識向上 ・支援方針の検討や支援方法に関する情報共有
主な行事等	・季節行事（いちご狩り・ハロウィン・クリスマス・しめなわ作り・節分・ひな祭り・卒業・進級おめでとう会） ・eスポーツ大会 ・eスポーツ交流会 ・プログラミング発表会 ・親子行事 ・おでかけ行事（買い物体験・公共交通機関利用体験） ・地域行事への参加		
備考	・同グループが運営する、放課後等デイサービス DOLPHIN e教室との交流の機械を設けている。 また併用利用時には情報共有を行い連携を図っている。		